

Pro writers <https://prowriters.jp/grammar/adjective>

形容詞とは

形容詞(けいようし)・形容動詞・副詞の見分け方や一覧・活用形・例について解説

国語の形容詞とは何か、形容詞の活用表や種類・意味について、例や一覧も交えて解説します。形容詞の用法や位置などの使い方をはじめ、修飾についても紹介します。文法で基本的な、形容詞と形容動詞・副詞・動詞の違いや見分け方、補助形容詞についてもわかりやすくご紹介します。



pro writers team

最終更新日 : 2020 年 01 月 19 日

参考文献 : 文部科学省中学校学習指導要領など (末尾に記載)

形容詞は物事の性質や状態をあらわし、終止形が「～い」で終わる自立語です。活用がある用言で「高い」「美しい」「忙しい」などが形容詞です。この記事では、形容詞の特徴や、形容動詞・副詞との見分け方について例を交えて解説します。

close

この記事の目次

- [形容詞とは](#)
- [形容詞の一覧](#)
- [形容詞の例文](#)
- [形容詞の用法・修飾](#)
- [形容詞の活用・活用形](#)
- [形容詞の用法（形容詞を使う位置・使い方）](#)
- [形容詞と形容動詞の違い・簡単な見分け方](#)
- [形容詞の特殊な用法\(補助形容詞\)](#)
- [よくある形容詞の間違い](#)
- [形容詞の語順](#)
- [まとめ](#)

形容詞とは

形容詞は「**おもしろい本**」「**白い紙**」のように、**性質や状態**などの意味をくわしく説明します。自立語で活用がある用言で、**言い切りの形が「い」で終わる**という特徴があります。

もう少し詳しく説明すると、「**おもしろい本だったよ**」「**難しい本だったよ**」などの例では、形容詞を使うことで本の特徴を詳しく説明することができます。

このように**本(名詞)がどんな様子かをあらわす**のが形容詞です。



「おもしろい、重い」などの形容詞が「本」という名詞をくわしく説明しています。

形容詞の一覧

形容詞の例の一覧としては、以下のようなものがあります。

美しい、優しい、賢い、虚しい、怖い、痛い、悲しい、美味しい、醜い、悔しい、可愛い、
大きい、長い、若い、赤い、深い、遠い、暗い、薄い、古い、太い、新しい、明るい

次に、形容詞を使った例文を紹介します。

形容詞の例文

次の例文から、形容詞を抜き出して形容詞についての理解を深めましょう。

長野のりんごは甘い。毎年実家の母から送られてくるりんごを食べると、子供の頃の思い出がよみがえる。美味しいりんごは我が家で大人気だ。7歳になる娘も長野のりんごの大ファンである。

この文の中の形容詞は、

「甘い」「美味しい」の2つです。

この文章では、形容詞は名詞の直前にきて名詞を修飾しているので、簡単に見つけることができます。

形容詞の用法・修飾

形容詞の用法は、大きく3つです。

- (1) 名詞を修飾する
- (2) 主語の性質を言う
- (3) 動詞を修飾する

(名詞修飾) 赤い靴

(主語の性質) 私の顔が赤かった

(動詞修飾) 速く走る

英語の形容詞の用法を覚えていると逆に混乱するのですが、英語の形容詞は名詞を修飾する用法のみです。そして英語の副詞が動詞を修飾すると学びます。しかし、日本語の形容詞は名詞も動詞も修飾します。そして日本語の副詞も動詞を修飾できるので、日本語では、動詞を修飾することができるのは形容詞と副詞ということになります。

(形容詞) 速く走る

(副詞) ゆっくり走る

形容詞の活用・活用形

形容詞の活用形についても理解しておきましょう。

形容詞は、**活用がある語**です。

活用(かつよう)とは、**語尾の形が変わること**です。

例えば、「本(名詞)」や「すっかり(副詞)」などは語尾が変化することはありませんが、形容詞は語尾が色々な形に変わるのです。

例えば、「美しい」の語尾を変化させると次のようになります。

形容詞「美しい」の活用の例

未然形：美しかろう

連用形：美しかった、美しくない

終止形：美しい

連体形：美しいとき

仮定形：美しければ

形容詞の活用形には、未然形・連用形・終止形・連体形・仮定形の5種類があります。以下のように、未然形は「～う」に連なる形、連用形は「～た」に連なる形のように、後ろに続く語が異なります。

活用の形

未然形：～うに連なる形（美しかろう）

連用形：～た、～ない、～なるに連なる形（美しかった）

終止形：言い切る形（美しい）

連体形：～ときなどの体言に連なる形（美しいとき）

仮定形：～ばに連なる形（美しければ）

命令形：- なし -

形容詞の活用で覚えておきたい「語幹・活用語尾」とは

形容詞の活用でよく耳にする言葉として語幹や活用語尾があります。語幹とは活用しても変化しない部分、活用語尾とは活用すると言い方が変化する部分のことを言います。

例えば「美しい」の場合は、

語幹(活用させても変化しない部分)：「美し」

活用語尾(活用すると言い方が変形する部分)：かろ、かつ、くなど

となります。覚えておくと便利です。

形容詞の活用の覚え方(かろかつくいいけれ)

受験などで、どうしても形容詞の活用の形を暗記する必要がある方は、「かろかつくいいけれ」という覚え方をした方もいるかもしれませんね。

特に暗記する必要がない方は、**形容詞は、文章の中では語尾が変化していることがある言葉**だと覚えておきましょう。

形容詞の活用表

形容詞の活用を表にまとめると以下ようになります。

活用の種類	活用
未然形	かろ
連用形	かつ、く
終止形	い
連体形	い
仮定形	けれ
命令形	- なし -

形容詞の活用形は未然形・連用形・終止形・連体形・仮定形の5種類のみで、命令形はあり

ません。

形容詞の活用はこの **1 種類のみ**です。[動詞](#)の活用(五段活用、上一段活用など)のように複数の形があるわけではありません。

形容詞の用法 (形容詞を使う位置・使い方)

次に、形容詞の用法について解説します。

形容詞は文の中で、**主語・述語・修飾語・接続語の4つの使い方**をすることができます。

それぞれの形容詞の使い方の特徴や位置について以下で紹介します。中でも重要なのは、形容詞は述語になることができるという点です。

形容詞の用法(1) 述語になる

このマンションは駅から**遠い**。

形容詞の用法(2) 主語になる

美しさは罪だ。

* 主語になるときは、後に「の」「が」「は」「も」などの助詞を伴います。

形容詞の用法(3) 修飾語になる

常に**美しい**文字を意識する。

* 単独で、また色々な付属語を伴って述語になります。

形容詞の用法(4) 接続語になる

もし**暗い**なら、電気をつけようか。

* 接続助詞を伴って接続語になります。

このように、形容詞は文の様々な場所で使用できると覚えておきましょう。

形容詞と形容動詞の違い・簡単な見分け方

形容詞と [形容動詞](#)の違いや見分け方がよくわからないという方は多いのではないでしょう

か。

ここからは形容詞・形容動詞の違いや見分け方、簡単な覚え方を解説します。

形容詞と形容動詞の例

まずは、形容詞と形容動詞の例文をご紹介します。

暖かい日。 【形容詞】

暖かな日。 【形容動詞】

どちらも「日」を修飾して詳しく説明しているように見えます。形容詞と形容動詞はどのようにして見分ければよいのでしょうか。

形容詞と形容動詞の簡単な見分け方

形容詞と形容動詞の簡単な見分け方は、**形容詞は言い切りの形が「～い」で終わり、形容動詞は「～だ」で終わる**ということです。

上の例では、「暖かい日」は言い切りの形が「暖かい」と、「い」で終わっている形容詞です。

「暖かな日」は言い切りの形が「暖かだ」と、「だ」で終わっている形容動詞です。

形容詞と形容動詞の違い

- 形容詞は、**言い切りの形が「い」で終わる**
- 形容動詞は、**言い切りの形が「だ」で終わる**

また、**形容詞も形容動詞も活用がある**という共通点があります。

活用の形に注目すると、形容詞の活用は「かる・かつ・く・い・い・けれ」、形容動詞の活用は「だろ・だっ・で・に・だ・な・なら」となり**活用の形が違います**。

形容詞 形容動詞 活用表

活用の種類	形容詞	形容動詞
未然形	美しかろう	綺麗だろう
連用形	美しかった	綺麗だった
終止形	美しい	綺麗だ
連体形	美しいとき	綺麗なとき
仮定形	美しければ	綺麗ならば
命令形	- なし -	- なし -

文章の中で形容詞や形容動詞が使われる時には、形が変わっていることがあるので、品詞が判断しにくいと感じるかもしれません。

そんな時には、**言い切りの形**に直してみるとわかりやすくなります。形容動詞は語尾が「～な」の形になっていることが多くあるので、「寒そうな格好」の場合は「寒そうだ。」のように終止形にすることで、品詞を判断することができます

形容詞と形容動詞の区別がつきにくい当たり前？

それでも形容詞と形容動詞の違いが分かりにくいと感じられるかもしれません。

それも当然かと思えます。例えば英語には形容動詞というものはありません。

また**外国人が日本語を習う場合も形容動詞という概念は学びません**。日本語の形容詞はイ形容詞。日本語の形容動詞はナ形容詞として、ともに形容詞として学びます。つまり**性質が同**

じなのです。

形容詞の特殊な用法(補助形容詞)

形容詞の中には、**特殊で見分けにくい補助形容詞(形式形容詞)**というものがああります。

補助形容詞の種類は、「ない」「よい(いい)」「ほしい」の3つが主なものです。

補助形容詞は、もとの意味が薄れ、補助的な役割に使われているため、見分けがつかないことがありますので、この3つは覚えておきましょう。

- 補助形容詞 「ない」の例：悪く(は)ない、面白く(も)ない
- 補助形容詞 「よい(いい)」の例：帰って(も)よい、つまらなくて(も)よい
- 補助形容詞 「ほしい」の例：帰ってほしい、教えてほしい

補助形容詞の見分け方は、直前に、「く」「で」「て」「は」「も」などがあるかどうかのポイントです。

補助形容詞の見つけ方

- 直前に、「く」「で」「て」「は」「も」などがあるかどうか

補助形容詞「ない」の見分け方

補助形容詞「ない」は、他の補助形容詞よりも見分けるのが難しい語です。

その理由として、「ない」は補助形容詞以外にも、[助動詞](#)や、本来の意味での形容詞、形容詞の一部など、多くの語で使われているので、見分けるのが難しいためです。

どれが補助形容詞として使われているものか、考えてみましょう。

補助形容詞はどれか

- 私はその本を読んでない。→「ない」は補助形容詞
- 私はその本を読まない。→「ない」は助動詞
- カバンに入れたはずの辞書がない。→「ない」は本来の意味の形容詞

- 片付けをしていないので部屋がきたない。→「ない」は形容詞きたないの一部
- 欲しいものは、全ては手に入らないものだ。→「ない」は助動詞
- 花は水をやらないと育たない。→「ない」は助動詞
- 彼が運命の相手でないことは確かだ。→「ない」は補助形容詞
- 彼女のフォームは悪くない。→「ない」は補助形容詞
- 少しの迷いもない。→「ない」は本来の意味の形容詞

補助形容詞「ない」は、読んでない、相手にない、悪くないの3つです。いずれも、直前が「～で(て)」になっています。

よくある形容詞の間違い

「大きい」と「大きな」の違い

大きいコップがある。

彼は私に大きな影響を与えた。

大きいと大きな何が違うのでしょうか。

大きいは形容詞で、大きなは形容動詞ですという風に答えてしまう人がいますが、それは誤りです。

「大きな」は

日本語の文法では、「大きい」は形容詞で、「大きな」は連体詞ですというのが答えになります。

大きなは、後ろに名詞がくるときにしか使用することができないため、形容詞や形容動詞ではなく連体詞です。

高校受験の国文法では、「大きな」は「かる・かっ・く・い・い・けれ」の、どの活用にもあてはまらないので、形容詞ではなく連体詞です。連体詞は、10 個くらいしかないので、

暗記しましょう。と教わります。

かなり分かりにくいですね。

では、私たちは「大きい」と「大きな」をどう使い分けているのでしょうか。

実際に、web 国語辞典で「大きな」と「大きい」を調べてみると以下のような例文が記載されています。

・大きい

大きい箱

大きい事件

体の大きい人

・大きな

大きな格差

大きな計画

問題の大きなとらえ方

大きな原因

実は「大きな」は目に見えない心で感じる抽象的な語と一緒に使い、「大きい」は具体的な語と使う傾向があります。

この違いは微妙で難しく、なかなか母国語が日本語でない人に説明するのは難しいかもしれません。

たった 1 文字の違いですが、文章中ではどちらを使うかによってニュアンスが変わってきます。

例えば、

大きなのっぽの古時計

大きいのっぽの古時計

「な」と「い」のいずれを使うかによって、感じ方が変わってきませんか。

「大きな」のほうが、具体的に目の前にある古時計というよりも、記憶の中の懐かしい感じがする大きくて立派な古時計という印象を受けるのではないのでしょうか。

よく考えると、なかなかレベルが高い違いだなと感じます。

形容詞の語順

2つ以上形容詞が連続する場合、自然な語順があります。種類→主観的評価→属性の順に並べます。

多くの(種類)素晴らしく(評価)赤い(属性)旗

赤い(属性)多くの(種類)素晴らしい(評価)旗

形容詞の連続を、語順を意識して組み立てられると、読みやすい文章が書けます。

まとめ

形容詞について解説しました。ポイントは3つです。

まとめ

- 言い切りの形が「い」
- 性質や状態を表す
- 活用の形が「かる・かつ・く・う・い・い・けれ」

品詞を1つ1つ覚えていくのは暗記しないといけないこともあり、骨が折れるかと思いません。しかし、正しい日本語を覚えることで、相手に誤解を与えることが少なくなり、言いたいことがスムーズ伝わります。間違った文章を指摘することもできるようになるので、少しずつ覚えていきましょう。

本解説は、文部科学省（平成29年度告示）中学校学習指導要領に準拠した中学校国語教科

書をはじめとする国語文法をわかりやすい観点で解説することを目的に作成されております。参考文献の詳細はページ末尾をご覧ください。

-

[ツイート](#)

-

[シェア](#)

pro writers 編集部

<https://prowriters.jp/services/company>

日本語文法の基礎を分かりやすく丁寧に解説します。文法に関する知識は文章力や読解力の入り口です。専門書の内容をもとに、これだけは知っておきたい国語のベーシックな知識を集め、より理解しやすい言葉でご紹介します。多くの方に読まれ続けているこの『日本語文法』をレベルアップや文法の振り返りにお役立てください。

日本語文法の品詞一覧

基本

- [文法まとめ](#)
- [ことばの単位](#)
- [文の構造](#)

構造

- [主語](#)
- [述語](#)
- [修飾語](#)
- [接続語](#)
- [独立語](#)

品詞

- [名詞](#)
- [動詞](#)
- [形容詞](#)
- [形容動詞](#)
- [助詞](#)
- [助動詞](#)
- [副詞](#)
- [連体詞](#)
- [接続詞](#)
- [感動詞](#)

敬語

- [敬語まとめ](#)
- [尊敬語](#)
- [謙讓語](#)
- [丁寧語](#)

表現

- [受け身](#)

参考文献

- 『[国語1](#)』『[国語2](#)』『[国語3](#)』 光村図書（中学校国語教科書）
- 『[中学校学習指導要領（平成29年告示）解説](#)』 文部科学省
- 『[国語教師が知っておきたい日本語文法](#)』 山田敏弘 くろしお出版
- 『[初級を教える人のための日本語文法ハンドブック](#)』 [監修] 松岡弘 [著] 庵功雄
高梨信乃 中西久実子 山田敏弘 [出版] スリーエーネットワーク
- 『[中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック](#)』 [監修] 白川博之 [著] 庵功雄
高梨信乃 中西久実子 山田敏弘 [出版] スリーエーネットワーク
- 『[助詞・助動詞の辞典](#)』 森田良行 東京堂出版
- 『[日本人のための日本語文法入門](#)』 原沢伊都夫 講談社現代新書
- 『[基礎日本語文法 一改訂版一](#)』 益岡隆志 田窪行則 くろしお出版